

防 災 上 の 用 途 の 分 類

分 類		活 動 内 容	施 設 分 類
災害応急対策活動に必要な施設	伝達等のための施設 災害対策の指揮、情報	(1) 災害時に応急対策活動の拠点施設	県庁、分庁舎、事務庁舎、研修施設 等
		(2) 災害時に応急対策活動の重要な役割をもつ施設	警察署等、事務庁舎、水道局施設 等
		(3) 災害時に応急対策活動の役割をもつ(1)及び(2)以外の施設	無線中継所、中継ポンプ場 等
	救護施設	(4) 災害時に救護活動の拠点施設	病院施設、社会福祉施設、事務庁舎 等
		(5) 避難所と位置づけられた施設	高等学校(体育館) 等
人命及び物品の安全性確保が特に必要な施設		(6) 危険物(放射性物質もしくは病原菌類)を貯蔵又は使用する施設	研究施設 等
		(7) 危険物(石油類、高圧ガス、毒物、劇物、火薬類等)を貯蔵又は使用する施設	研究施設 等
		(8) 多数の者が常時利用する施設	文化施設、社会福祉施設、高等学校、養成施設、集客施設、警察施設 等
		(9) 多数の者が利用する(8)以外の施設	集客施設、研究施設、事務庁舎、研修施設 等
		(10) その他(1)から(9)以外の施設	事務庁舎、県営住宅、研究施設、研修施設、集客施設 職員公舎 等

【用語の定義】

Is 値	構造耐震指標と呼ばれ、建築物が保有する耐力を表わす指標(木造建物を除く) (耐震診断で判断の基準となる値)
上部構造評点	木造建物における必要耐力に対する保有する耐力を表す指標 (木造建物における耐震診断で判断の基準となる値)

【建築物の構造】

RC	鉄筋コンクリート造	CB	コンクリートブロック造
SRC	鉄骨鉄筋コンクリート造	W	木造
PC	プレキャスト鉄筋コンクリート造	RC+S	混構造(鉄筋コンクリート造+鉄骨造)
S	鉄骨造	RC+W	混構造(鉄筋コンクリート造+木造)
LS	軽量鉄骨造	SRC+S	混構造(鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄骨造)